



さくらじま

【学校教育目標】

みづか まな たか
自ら学び、高めあい

よりよく生きようとする
子どもの育成

れいわ んん がつ にち
令和4年9月8日 N013



がくりよくがくしゅうじょうきょうちようさ けっかぶんせき 学力学習状況調査の結果分析

がくりよくがくしゅうじょうきょうちようさ けっか ぶんせき
学力学習状況調査の結果を分析しました。今年(ことし)は「国語」「算数」に加え(くわ)3年(ねん)に1度(ど)実施(じっし)する「理科(りか)」を含(ふく)めて3教科(きょうか)です。夏休(なつやす)みに入(はい)ってから新聞(しんぶん)にも取り上(と)げられていた(い)ので、目(め)にされ(さ)れた方(かた)もいる(い)ると思(おも)います。結果(けっか)が発表(はっぴよう)され、夏休(なつやす)みに職員(しよくいん)で分析(ぶんせき)を行(おこな)いました。本校(ほんこう)の結果(けっか)をお伝(つた)えます。調査(ちようさ)により測定(そくてい)できる(で)るのは学力(がくりよく)の一部(いちぶぶん)であることを踏(ふ)まえた上(う)で、調査(ちようさ)結果(けっか)を今後(こんご)の取組(とりくみ)に活(い)かしてまい(ま)ります。



答え(こた)に求め(もと)められ(ら)れる条件(じょうけん)3つ

かだひ み さんだい 課題(かだひ)の見(み)られ(ら)れた問題(もんだい)

み	さんだい
○「話し合いの様子(かたがは)の一部(いちぶ)から自分(じぶん)の考(かんが)えを指(さ)定(てい)された3つ(さん)の条件(じょうけん)を満(み)たしながら記(き)述(じゆつ)で答(こた)える」問題(もんだい)は52.2%しか正(せい)解(かい)でき(き)ていませ(ませ)ん。誤(ご)答(た)の原因(げんいん)とし(とし)ては「条件(じょうけん)が一つ(ひとつ)しか満(み)たされ(され)ていませ(ませ)ん」「問題(もんだい)の意(い)図(と)をよ(よ)み取(と)れ(れ)ていませ(ませ)ん」ことが考(かんが)えられ(られ)ます。 <td></td>	
《2学期(がっきこう)以降(とりくみ)の取組(とりくみ)》	
・話し合(はな)い活(あ)動(かどう)の機(き)会(かい)を多(おほ)くとり、友(とも)達(だち)の意(い)見(けん)をもと(もと)に自(じ)分(ぶん)の考(かんが)えを構(こう)築(ちく)したり、考(かんが)えた訳(わけ)を説(せつ)明(めい)したりする活(か)動(どう)を各(かく)学(がく)年(ねん)に取(と)り入(い)れてい(い)きます。	
・自(じ)分(ぶん)の考(かんが)えを順(じゆん)序(じよ)だてて説(せつ)明(めい)する力(ちから)、書(か)き表(あら)わす力(ちから)を育(そだ)てま(ま)す。	
・条(じょう)件(けん)に合(あ)わせて必(ひつ)要(よう)な言(ことば)葉(は)や文(ぶん)を取(と)り上(あ)げ、書(か)く活(か)動(どう)に取(と)り組(く)みま(ま)す。	

四(よ)問(もん)さん(さん)は「話し合(はな)い活(あ)動(どう)の様(よう)子(し)の「一(いち)部(ぶ)」の「こ」を「こ」で、「こ」を「こ」で、「こ」を「こ」で、「こ」を「こ」で選(せん)んで答(こた)えようとして(して)います。あな(あな)たが問(もん)き(き)なら、ど(ど)のよう(よう)に答(こた)え(え)ますか。その内(うち)容(よう)を次(つぎ)の条(じょう)件(けん)に合(あ)わせて書(か)きま(ま)す。

○「話し合(はな)い活(あ)動(どう)の様(よう)子(し)の「一(いち)部(ぶ)」から自(じ)分(ぶん)の考(かんが)えを指(さ)定(てい)された3つ(さん)の条(じょう)件(けん)を満(み)たしながら記(き)述(じゆつ)で答(こた)える」問題(もんだい)は52.2%しか正(せい)解(かい)でき(き)ていませ(ませ)ん。誤(ご)答(た)の原因(げんいん)とし(とし)ては「条件(じょうけん)が一つ(ひとつ)しか満(み)たされ(され)ていませ(ませ)ん」「問題(もんだい)の意(い)図(と)をよ(よ)み取(と)れ(れ)ていませ(ませ)ん」ことが考(かんが)えられ(られ)ます。

○「話し合(はな)い活(あ)動(どう)の様(よう)子(し)の「一(いち)部(ぶ)」から自(じ)分(ぶん)の考(かんが)えを指(さ)定(てい)された3つ(さん)の条(じょう)件(けん)を満(み)たしながら記(き)述(じゆつ)で答(こた)える」問題(もんだい)は52.2%しか正(せい)解(かい)でき(き)ていませ(ませ)ん。誤(ご)答(た)の原因(げんいん)とし(とし)ては「条件(じょうけん)が一つ(ひとつ)しか満(み)たされ(され)ていませ(ませ)ん」「問題(もんだい)の意(い)図(と)をよ(よ)み取(と)れ(れ)ていませ(ませ)ん」ことが考(かんが)えられ(られ)ます。

こくご 【国語】

○『話し言葉(はな)と書(か)き言葉(ことば)の違(ちが)いを理(り)解(かい)する』『人(じん)物(ぶつ)像(ざう)や物(もの)語(ご)の全(ぜん)体(たい)像(ざう)を具体的に想(さ)像(ざう)する』はど(ど)ちらも85.8%正(せい)解(かい)でき(き)ていませ(ませ)ん。

▲『話し合(はな)い活(あ)動(どう)の様(よう)子(し)の「一(いち)部(ぶ)から自(じ)分(ぶん)の考(かんが)えを指(さ)定(てい)された3つ(さん)の条件(じょうけん)を満(み)たしながら記(き)述(じゆつ)で答(こた)える」問題(もんだい)は52.2%しか正(せい)解(かい)でき(き)ていませ(ませ)ん。誤(ご)答(た)の原因(げんいん)とし(とし)ては「条件(じょうけん)が一つ(ひとつ)しか満(み)たされ(され)ていませ(ませ)ん」「問題(もんだい)の意(い)図(と)をよ(よ)み取(と)れ(れ)ていませ(ませ)ん」ことが考(かんが)えられ(られ)ます。

《2学期(がっきこう)以降(とりくみ)の取組(とりくみ)》

・話し合(はな)い活(あ)動(どう)の機(き)会(かい)を多(おほ)くとり、友(とも)達(だち)の意(い)見(けん)をもと(もと)に自(じ)分(ぶん)の考(かんが)えを構(こう)築(ちく)したり、考(かんが)えた訳(わけ)を説(せつ)明(めい)したりする活(か)動(どう)を各(かく)学(がく)年(ねん)に取(と)り入(い)れてい(い)きます。

・自(じ)分(ぶん)の考(かんが)えを順(じゆん)序(じよ)だてて説(せつ)明(めい)する力(ちから)、書(か)き表(あら)わす力(ちから)を育(そだ)てま(ま)す。

・条(じょう)件(けん)に合(あ)わせて必(ひつ)要(よう)な言(ことば)葉(は)や文(ぶん)を取(と)り上(あ)げ、書(か)く活(か)動(どう)に取(と)り組(く)みま(ま)す。

さんすう
【算数】

○『図形を構成する要素に着目して長方形やひし形の意味や性質、構成の仕方について理解する』は88%の正解で県より10%ほど高い正答率になっています。

○『比例の関係にあることを用いて求める数量の求め方と答えを記述で答える』ことはできました。

▲『正三角形の意味や性質をもとに、回転の大きさとして角の大きさに着目して示されたプログラムを書き直す』問題で、正答の条件を書けなかった子が51%でした。

《2学期以降の取組》

- ・プログラミング教材を算数授業で扱っていきます。
- ・答えを導き出す過程を、自分の言葉で説明するなど、考えを文章化することを大切にしていきます。

課題の見られた問題

(1) はなごさんは、1辺が5cmの正三角形をかこうとしています。

はなごさんは、正三角形のプログラムをもとにして、正三角形をかためのプログラムをつくり、実行しました。

実際の結果

そこで、つくったプログラムを見直すことにしました。

つくったプログラム

かこうとした正三角形をかくには、どちらの命令を直すよりですか。下のアとイから選んで、その記号を書きましょう。また、その選んだ命令を、言葉で数を使って、正しい命令を書き直しましょう。

ア 5cmの直線を引く。
イ 左に60°回転する。



りか
【理科】

○『問題をもとに、観察の記録がだれのものかを選ぶ』という問題は93.8%の正答率でした。

▲『鏡ではね返した日光の位置が変化していくことをもとに継続して同じ条件で実験を行うため、新たに追加した手順を書く』問題は70.8%の正答率で5.3%が無回答でした。

《2学期以降の取組》

- ・理科専門用語を使い、自分のノートに書いたり説明したりする機会をもつようにします。
- ・実験において考察や結果を、自分の言葉で書いたり話したりする活動を取り入れていきます。

じどうしつもんし
児童質問紙から

平日のスクリーンタイム（テレビゲーム、携帯、スマートフォン、動画視聴など）が1日3時間以上という児童が30.9%と高くなっています。また、平日の読書時間は、全くしない児童が33.2%（全国+6.9%）となっています。読書は言葉を学び感性を磨き表現力を高めます。学力の習得との関係も大きいです。学校でもノーメディアデーや読書活動に積極的に取り組んでいきます。ご家庭でも、今一度、子どもたちの過ごし方について話し合ってみてください。

課題の見られた問題

次に、たかしさんは、日光をはね返して調べる動画を見て、先生とやってみることにしました。

たかしさん：調理に使うなべは、黒色がよいと書いてあるよ。黒色があたりやすいのかな。

はなごさん：ほかの色も試してみたいね。赤色はどうかな。

かつやさん：色をつけた空きかんに水を入れて、温度をはかろう。【問題】が見つかったね。

【問題】はね返した日光を水の入ったかんにあてると、何色のかんの水の温度が最も高くなるのか。

たかしさんは、次のような実験をしました。

【方法】固定した温度計、空きかん

①同じ傾斜、同じ大きさの空きかんに色をぬる。（黒色、赤色、青色、白色）

②10分後、かんのようすを見ると、はね返した日光の位置がずれていることに気づきました。

はなごさん：はね返した日光がかんにあたっていないと、正しい実験にならないね。

鏡に当たっていないのに、はね返した日光の位置がずれるということは、太陽の位置が変化しているんだ。実験の【方法】を見直さないといけないね。

たかしさんは、実験の【方法】を見直して、手順②を加えました。下の□にあてはまることばを書きましょう。

【方法】③はね返した日光をかんにあて、0分、20分後、40分後のかんの水の温度をはかる。
④なお、太陽の位置の変化に合わせて、はね返した日光がかんにあたるように、□を変更する。